

工 作 物 調 査 表

調 査 年 月 日		調 査 者		枚 数	全 葉 の 内		
工 作 物 所 在 地							
工 作 物 所 有 者	住 所 又 は 所 在 地	-----		氏 名 又 は 名 称	-----		
土 地 所 有 者	住 所 又 は 所 在 地	-----		氏 名 又 は 名 称	-----		
建 物 所 有 者	住 所 又 は 所 在 地	-----		氏 名 又 は 名 称	-----		
摘 要							
字	地 番	種 類	形 状 寸 法	単 位	数 量	起 業 地 ・ 残 地 の 別	摘 要

- (備考)
- 1 種類欄には、工作物の名称を記載すること。
 - 2 面積、容積等を算出するための縦、横、高さ等の数量は摘要欄に記載すること。
 - 3 工作物所有者、土地所有者及び建物所有者が法人の場合には、下段に「法人を代表する者の住所及び氏名」を記入すること。
 - 4 法令の規定に基づき施設の改善が必要となる場合は、その概要を摘要欄に記載すること。

立竹木調査表

調査年月日		調査者		枚数	全	葉の内									
立竹木所在地															
大字 地内															
立竹木所有者	住所又は所在地			氏名又は名称											
土地所有者	住所又は所在地			氏名又は名称											
摘要															
字	地番	種別	樹種	形 状			単位	数量	1㎡当り用材林植栽本数(本)	1㎡当り用材林当該林齡適正本数(本)	下刈り枝打ち等の状況	管理程度の判定	起業地残地の別	摘要	
				樹齡又は林齡	幹周又は胸高直徑	樹高									葉張

(備考) 1 立竹木所有者及び土地所有者が法人の場合には、下段に「法人を代表する者の住所及び氏名」を記載すること。
 2 種別欄には、高木、株物、玉物、生垣、特殊樹、利用樹、風致木、地被類等、芝類、ソル性類、用材林、果樹、特用樹、竹林と記載すること。
 3 樹種欄には、收穫樹については、園栽培又は散在樹も併記すること。
 4 觀賞樹の管理程度の判定については、「良い」「やや良い」「普通」の別を記載すること。
 5 用材林の下刈り枝打ち等の状況については、「良」「否」と、管理程度の判定については、「適正」「未管理」の別を記載すること。
 6 用材林にあっては、林齡調査の内容等を摘要欄に記載すること。
 7 用材林で材積の調査を要するものは、摘要欄に材積計算書又は算出根拠を記載するとともに、葉張欄を訂正して材積を記載すること。

収穫樹 (園栽培) 管理程度補正表

1,000m²あたり

氏名		地内													
樹種 A	規格 又は 樹齡 B	伐採					移植								
		修正額 C	管理程度 補正率 D	修正後 修正額 E=C*D	伐採費 F	伐採 補償額 G=E+F	減収額 H	枯損額 I	計 J=H+I	管理程度 補正率 K=D	修正後 計 L=J*K	移植費 M	移植 補償額 N=L+M		

(備考)
 1 「移植補償額N」については、「伐採補償額G」を超えないものとする (超える場合にはN欄は空白とする)。
 2 管理程度補正率が1.0である場合には、物件移転等標準書 (単価表編) に単価が掲載されるため、本表は作成不要である。
 3 消費税課税対象額を上に () 書きで記載する。

墓 碑 類 調 査 表

調査年月日		調査者		枚数	全 葉の内					
墳墓所在地	大字 地内									
墳墓の所有者 (墓地使用(祭祀)者)	住所	-----		氏名 又は 名称	-----					
墓地管理者	住所	-----		氏名 又は 名称	-----					
墓地所有者	住所	-----		氏名 又は 名称	-----					
摘要										
字	地 番	番 号	構造 (種類)	形 状 寸 法	埋葬 年次	遺体数 又は 遺骨数	土 葬 火 葬 の 別	単 位	数 量	摘 要

- (備考) 1 番号欄には、墓地使用(祭祀)者調査表の霊体番号を記載すること。
 2 構造(種類)欄には、墓碑類の種別(石塔、墓誌等)を記載すること。
 3 形状寸法欄には、石塔(花台等を含む。)の各部分ごとに縦×横×高さ=体積を記載し、一基ごとに集計すること。
 4 土葬、火葬の別欄には、土、火と記載すること。
 5 墳墓の所有者(墓地使用(祭祀)者)、墓地管理者及び墓地所有者が法人の場合には、下段に「法人を代表する者の住所及び氏名」を記入すること。